

地域日本語教育の推進のための意識啓発セミナー

外国にルーツのある 子どもの支援を考える

(兼 第2回 外国人児童生徒等教育連絡協議会)

外国にルーツのある児童や生徒が増加する中、学校や地域ではさまざまな支援が行われています。

本セミナーでは、外国にルーツのある子どもや若者への支援の実践を通して、その背景や課題への理解を深めるとともに、子どもたちの将来や「ライフコースを見据えた支援について学び、学校、地域、行政等がそれぞれの立場でできることや連携のあり方を考えます。



日時

令和8年 **11月16日**(月) **14:00～16:30**

(13:30 受付開始)

会場

福井県国際交流会館 地下1階 多目的ホール

対象

- ・県内小・中・高等学校等の教職員
- ・市町及び教育委員会等の担当者
- ・外国にルーツをもつ子どもの支援に関わる団体・支援者
- ・国際交流協会等の関係者
- ・その他、本テーマに関心のある方

お申込み
フォーム



内容

講演・事例紹介 **14:00～15:15**

第1部

「外国にルーツをもつ子どもの未来を見据えた支援
—アレッセ高岡の実践から—」

講師

NPO法人アレッセ高岡 理事長

青木 由香 氏



- ・外国にルーツをもつ子ども・若者の現状と課題
- ・学習・進路・情報支援の実践
- ・日本語が十分でない子どもへの関わり方・支援の工夫
- ・進路や将来のライフコース、その後の地域・社会との関わりを見据えた支援
- ・学校・地域・行政等の役割と連携

第2部

第2回外国人児童生徒等教育連絡協議会 **15:30～16:30**

※対象者のみ

- ・参加者自身が日頃の実践や課題を振り返りながら、外国にルーツをもつ子どもたちの将来に向けて、それぞれの立場でできることや必要な連携について考える。